

道路交通法の改正を受けて どのような対応をしているか

一括質問

「ニュースまちかど」を通じた 自治会への周知などを行っている

清水勝 議員(市政) 市民の安全確保の面から自転車走行ルールの徹底が必要と思うが、道路交通法の改正で自転車利用者のルールが厳しくなったことを受けて、どのような対応を行っているか。



▲自転車ナビマーク

て改正内容を自治会等に周知したほか、自転車安全利用の啓発活動として交通安全市民のつどいや街頭キャンペーンなどを実施している。

議員 自転車の左側通行を促すナビマークの設置は、啓発事業として効果があると考えるが、今後の設置予定は。

生活環境部長 これまで警視庁が試験的に中河原駅周辺の市道などに設置してきたが、今後も効果

小・中連携において 差が生じないように 交流の公平性を保つ考えは

コーディネーター同士が協議し 連携の調整等を図っていく

一括質問

小野寺 淳 議員(市政)

小・中一貫教育の本格実施に向け、各校で1名ずつ選任されたコーディネーターが中心となり、連携の推進に向けた協議を行っている。このコーディネーターの役割は。

教育部長 中学校区ごとに目指す子ども像を検討提案するほか、カリキュラム接続のための準備等を行うこととなっている。議員 中学校の学区域には複数の小学校があることから、小・中連携に大きな差異が生じないように交流の公平性を保つ必要があると考えるがどうか。



▲小学校で行われている福祉体験

教育部長 教員で構成するプロジェクトチームで統一して重点的に取り組む内容を検討するとともに、コーディネーター同士が協議し、連携の内容や方法について調整等を図っていく。

武蔵台地域のまちづくりについて(その3)

心のバリアフリーに関する 施策に取り組んでいるか

ボランティア体験を通じた 福祉教育等の推進を図っている

一問一答

須山 卓知 議員(市政)

東京都がパラリンピックを開催する意義について、市の認識を聞きたい。

政策総務部長 障がいのある無にかかわらず、それぞれの個性や能力を尊重し、支え合う共生社会を実現していく契機になるものと認識している。

そのため、障がい者スポーツの振興やボランティア活動など様々な分野でオリンピックと一体となった取組を市民とともに進める必要があると考える。議員 上から目線といった意識ではなく、相手の立場に立って行動する心のバリアフリーに関する

中河原駅前の横断歩道設置を 強く求めるが市の見解は

バリアフリー化に向けた設置を 早期に実現していきたい

手塚 歳久 議員(市政) 中河原駅前の歩道橋は、バリアフリー対策がなされておらず、以前から問題提起しているが、地元住民や駅利用者からはどのような要望があるのか。また、横断歩道設置を強く求めるが市の見解は。

議員 市中心的な要路であるが、要望については、鎌倉街道の横断に係るバリアフリー化のほか、駅西側臨時改札口の常時開設等があった。

最近では、平成27年6月に駅周辺の3つの自治会の連名により、本市や市議会などに対し、要望書が提出されている。

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

市西部地域の主要道路における バリアフリー化の見通しは

整備効果などを踏まえて 検討していきたい

一問一答

稲津 憲護 議員(市政)

市では、交通バリアフリー化について、府中駅周辺を特定重点整備地区として整備を進めるなど重点的に取り組んできたが、市内道路で歩車道段差の解消などに対応している路線数を聞きたい。

議員 都市整備部長 駅や公共施設などの周辺経路を結ぶ道路のうち、37路線、延長約13・3キロメートルで整備を行っている。

議員 市中心的な要路であるが、要望については、鎌倉街道の横断に係るバリアフリー化のほか、駅西側臨時改札口の常時開設等があった。

最近では、平成27年6月に駅周辺の3つの自治会の連名により、本市や市議会などに対し、要望書が提出されている。

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

男性を 対象とした 子育て支援等の取組は 男女が互いに協力し合えるよう 講座等を通じた啓発に努めたい

一括質問

増山 明香 議員(市政)

市職員における男女の地位平等について、どのように考えているか。

また、審議会等の委員について、女性の比率が低い理由を聞きたい。

政策総務部長 市職員については、性別にかかわらず意欲と能力のある職員を登用しているが、昇任試験を受験する女性職員が少ない状況である。

また、委員については、特別な専門性が求められる

分野で女性の割合が低いといった理由がある。議員 男女共同参画社会づくりを進めるには仕事と家庭で男女が協力し合う必要があると思うが、男性を対象とした子育て、介護支援等の取組は。

市民協働推進本部長 いわゆる性別役割分担意識にとらわれず、男女が子育てや家事などを互いに協力し合えるよう、講座やセミナーを通じた普及啓発に努めたい。

村崎 啓一 議員(市政)

建築基準法上の道路に接していない無接道敷地について、家屋の建替えが一定の条件を除いてできないこととなっている。建替えの遅れは地域全体の防災の後退に直結すると思うが、建替えにつ

ての考えを聞きたい。市長 これまでの基準を原則としながらも、地域の防災面や環境面等を総合的に判断するなど、柔軟な対応をしていきたい。議員 無接道敷地の用地買上げなどを行う木密地域不燃化10年プロジェクトを実施している。

本市も対象となることが望ましいと思うがどうか。まちづくり担当 安全で快適に暮らせるまちの実現には防災力の向上が必要と考える。同プロジェクトは多摩地区が対象となっていないため、今後は都と連携して木密地域解消の整備を行う必要があると考えている。

議員 市中心的な要路であるが、要望については、鎌倉街道の横断に係るバリアフリー化のほか、駅西側臨時改札口の常時開設等があった。

最近では、平成27年6月に駅周辺の3つの自治会の連名により、本市や市議会などに対し、要望書が提出されている。

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー



▲バリアフリー化された道路

化に向けた設置を早期に実現していきたい。環境美化推進地区の拡大について●少人数指導の拡充について

また、設置については、地域住民からの後押しを問題解決につなげるべく、今後も関係機関に働きかけを行い、バリアフリー